

北海道札幌平岸高等学校の取組【読書：図書館活用授業】

1 研究のねらい

学校図書館を利用して環境教育をテーマとした学習活動を行う。授業で生物多様性をテーマとしたデジタル絵本を制作し、札幌市電子図書館から貸出を行い、地下歩行空間でのイベントでデジタル絵本の読み聞かせ活動と来場者からのメッセージを取り入れた人と動物の共生社会をテーマにライブ壁画の制作を行うことで図書に対する関心を高めたい。

また、昨年度制作した円山動物園の環境教育用デジタル絵本の読み聞かせ活動として、平岸高台小学校ミニ児童会館での読み聞かせなどの図書館を中心とした学習活動へと発展させていく。

2 取組内容

(1) 円山動物園環境教育デジタル絵本の制作と読み聞かせ活動

① 生物多様性デジタル絵本の制作と人とペットの暮らしひろばでの読み聞かせ

昨年度の円山動物園のデジタル絵本に続き、授業で生物多様性のデジタル絵本を制作し、札幌市電子図書館から貸出を開始した。9月に地下歩行空間で行われた人とペットと暮らしひろば2017では、動物園と生物多様性デジタル絵本の読み聞かせの他に、ひとと動物の共生社会へ向けてのライブ壁画を制作し、来場者からのメッセージを壁画に貼り、多くの市民と交流した。完成した壁画は、札幌市動物管理センターに展示されることになった。



② 第9回さっぽろ環境賞札幌市長賞を受賞

円山動物園の環境教育デジタル絵本、生物多様性デジタル絵本の読み聞かせ活動などが評価され、第9回さっぽろ環境賞札幌市長賞と第8回ESD大賞ベストアクティビティ賞を受賞することになった。札幌市電子図書館でも特集で紹介され、多くの市民に読んでもらうことができたと思う。

環境教育を題材に2年間デジタル絵本を制作して円山動物園をはじめ、関係機関の専門家の協力を得て、環境について様々な学習を行うことができた。



(2) 図書館を中心とした学習活動の広がり

① 平岸高台小学校ミニ児童会館での読み聞かせ

さっぽろ環境賞の新聞報道で隣の平岸高台小学校ミニ児童会館よりデジタル絵本の読み聞かせの依頼があった。3年生の生徒が放課後、児童会館を訪問し動物園のデジタル絵本と子供達のリクエストに応じて、電子図書館用に制作したデジタル絵本を何冊



か読み聞かせを行った。

ミニ児童会館での読み聞かせは、今後も何回か継続して行っていくことになったので、デジタル絵本の発表の場として活用していく他、生徒と小学生たちとの読書を通じての交流の場としていきたい。

② 朝読書推薦書籍ポスター展

昨年度も実施した各学年の朝読書の推薦図書のポスター展を図書室前の廊下で行った。図書館にある書籍を自由に生徒が選び、そのポスターを制作し、生徒に広報する活動はポスターを制作する生徒も、見る生徒にも好評で図書館を利用するきっかけとなっていると思う。

また、今後は小学生へ推薦図書ポスターを制作して児童館や小学校の図書室へ掲示するなどの展開も考えられる。



3 成果と課題

(1) 成果

2013年から姉妹都市のポートランドの児童生徒の日本語教育のためのデジタル絵本の創作活動をはじめ、翌年の札幌市電子図書館のスタートから図書館のコンテンツとしてデジタル絵本を提供し、小学校での読み聞かせ活動を行ってきた。

2015年には、リニューアルオープンした北海道博物館を読書活動キャラクターのおっほんが紹介するデジタル絵本、2016年には、円山動物園を環境教育キャラクターちっきゅんが円山動物園の動物を題材に環境教育用デジタル絵本、さらに今年度は生物多様性のデジタル絵本を制作し、読み聞かせ活動を行うことができた。

また、本校で行っている朝読書の推薦図書のポスターを制作し、図書館前の廊下に掲示し、図書館の利用を促進することができ、生徒が本に親しむことができた。

ポートランドの日本語学習の為にデジタル絵本は、ユネスコスクールの優良実践事例となり、円山動物園の環境教育用デジタル絵本の制作と読み聞かせ活動などは第9回さっぽろ環境賞の最優秀賞である札幌市長賞と第8回ESD大賞のベスト・アクティビティ賞を受賞するなどの成果があった。

(2) 課題

電子書籍の登場によって、スマートフォンに本を入れて読むことができるようになった。さらに電子図書館のようにいつでもどこでも本を借りて読むことができるようになった。また、本校のデジタル絵本のように本を制作し、図書館から貸し出すことも可能になった。学校図書館は学校において、たくさんの本を読み、また、たくさんの本を紹介する生徒や児童の読書活動のベースとなる場所である。今後もこの活動を継続し、学校における学習情報メディアセンターとして図書館を活用し、生徒の読書活動や図書館利用を促進、充実させていきたい。